

令和5年度 体験活動普及啓発事業
森のキッズキャンプ

- [主 催] 国立曽爾青少年自然の家
- [期 日] 令和5年7月2日（日帰り）
- [対 象 者] 年長児
- [参加/募集] 20名／20名程度
- [担 当] 福島茂樹（企画指導専門職）
小西岳勝（企画指導専門職付係員）
金端秀太（事業推進係員）



1 趣 旨

- ・自然のなかで主体的に遊ぶことを通して、自然への興味、関心を高める

2 ねらい

- ・森の中で諸感覚を使って遊ぶことで、豊かな感性を引き出す
- ・森の中で思い切り遊び、自然への興味、関心を高める

3 プログラム展開

7月2日 （日）	榛原駅集合 （9:00） もしくは 現地集合 （9:45）	10:00	10:30～	14:30～	15:00	榛原駅解散 （16:30） もしくは 現地解散 （15:30）
	はじまり の会	森の自由遊び （昼食含む）	森の自由遊び 遊びの見学	おわり の会		

4 活動の様子



5 まとめ（ねらいに対する参加者の感想、ねらいに対するアンケート結果）

（参加者）

- ・森の中で一日遊んだこと。特に葉っぱを集めたことが楽しかった。竹の音が心に残った。
- ・木とか燃やすのが楽しかった。火がふわってなるのがおもしろかった。
- ・穴掘りを今までやったことがなかったから心に残った。
- ・初めて竹を切って、楽しかったし心に残った。
- ・高いところまでのぼって、空が見えたことが心に残った。

（保護者）

- ・たき火などふだんできない経験をさせていただけてよかった。
- ・お兄さんや初めて会った友達と一緒に虫をつかまえて楽しかった。